

令和8年 中学生議会 一般質問通告一覧表

通告番号	所属講座	発言議員名	質問件名	内容	答弁者
1	PR	行田 陽翔	観光客や移住者の誘致について	<p>私たちPR講座では、ふるさとCM大賞に応募したり、はらむらフォトコンテストに応募したりする活動に取り組んできました。農場のお花畑、夜の暗さと星空、イルミネーション、青空と山の稜線等々。原村には本当に素敵どころが沢山あると思います。</p> <p>ひとつ目の質問ですが、村として、観光客や移住者の誘致に関して、どのように考えていますか。今、住んでいる住民を大切にしたいという思いがあるとは思いますが、観光客に来てもらって村内でお金を使ってもらったり、移住者が来て村民税を納めてもらったりすれば、村が豊かになっていくと思います。</p>	松下議員
2	PR	須藤 向祐	村のデジタル政策について	<p>私たちは、はらむらフォトコンテストに応募しました。私たちの写真は入賞することはありませんでしたが、どの風景も素敵で、それが発信されることは良いことだと感じています。</p> <p>ふたつ目の質問です。村としては、魅力発信のデジタル戦略はどのようになっているのでしょうか。フォトスポットマップを作ったり、SNSを使ったPR、ロードマップとQRコードを連動させるアプリを作ったり、いろいろ考えられることがあると思いますが、いかがでしょうか。</p>	松下議員
3	ワイン	守屋 太賀	ぶどうでワイン以外の商品をつくることについて	<p>私たちワイン講座では、先輩たちから引き継いだぶどうを今年一年育ててきました。今年は去年の2倍の収穫量160kgのぶどうを収穫することができました。そこで考えたことがあります。</p> <p>毎年の収穫量は増えているので、ワインだけにぶどうを使うのはもったいないと思っています。</p> <p>今の活用の仕方はワインだけなので、せっかくぶどうを育てても今、子どもは楽しむことができません。なので、子どもでも飲めるようなぶどうジュースやぶどうを使ったチョコなどを作ることについてはどう思われますか。</p>	森山議員
4	ワイン	本多 夏央	原村のワインのPRと支援の拡充について	<p>原村は茅野市や富士見町とともに、ワイン特区に指定されました。</p> <p>しかし、まだまだその知名度が上がっていないと感じます。私は、まずはワイン特区に指定されていることをもっとたくさんの人に知ってもらう必要があると思います。</p> <p>そのために、ワイン畑や醸造所の見学ツアーを開催してワインをつくるまでの過程を多くの人に知ってもらうのはどうでしょうか。そして、そのツアーでワインの詳しい過程を知ってもらったうえで、原村でワインをつくりたいという人を募集し、土地の貸し出しや苗木の提供などの支援を拡充させるべきだと思います。ツアーでワインをつくる過程を知ってもらう点、土地の貸し出しなどの農家を中心とした支援を拡充させる点について、議員のみなさんの意見をお聞かせ下さい。</p>	村田議員

令和8年 中学生議会 一般質問通告一覧表

通告番号	所属講座	発言議員名	質問件名	内容	答弁者
5	食文化	イワナミ 咲希 岩波 咲希	原村の農業を続けていくために	私たちは、原村の食材を使った料理を考えました。そこで、セロリをはじめとする農作物の素晴らしさを感じました。ですが、現在原村は、高齢者中心の農業になっており、これから後を継ぐ人が減ってしまうという問題があります。高齢者の方々を支える仕組みとして、みんなで一緒に使える農地を作ってほしいです。そのような場所があったら、気軽に農業を始めることができると思います。また、私も2年生の時に農業体験をし、大変な中にもやりがいを感じ、農業へ興味を持ちました。若者が気軽に手伝ったり、体験できたりする機会や場所があると良いと思いました。	小松議員
6	食文化	ヘルナンデズ ヘルナンデズ	世代を超えて食文化を共有する機会について	私たちは食文化講座の中で、地域の食材を使ってみんなで協力して料理をしたり、食べたりする楽しさを知りました。そのため、子ども食堂のように、子どもから高齢者の人たちが伝承し、交流できる場を作りたいと思いました。小中学生が高齢者の方に料理を教えていただいたり、私たちが考えたレシピなどを楽しんでもらったりすることで、食を通じたコミュニケーションの機会になり、文化が続いていくと思います。子ども食堂ならぬ、みんなの食堂を作るのはいかがでしょうか。	小松議員
7	食文化	ホリグチ 彩乃 堀口 彩乃	原村の食材を使ったレシピを知ってもらうための活動について	私たちは食文化講座でセロリ以外にも、米粉など原村で作られている食材が多くあることを知り、原村の食材とレシピを広めることで、原村で作られている食材の魅力を多くの人に知ってもらいたいと思いました。そこで、私たちが今考えている原村の食材を使ったたこ焼きのレシピや、地域の人たちも気軽にレシピを掲載できるサイトを作ったり、広報はらでサイトの宣伝をしたりできると、さらに魅力を知ってもらえると考えました。いかがでしょうか。	佐宗議員
8	大工	コバヤシ 晃也 小林 晃也	看板について	私たちは、原村学で村の第一印象となる看板の修復、新設を行いました。看板は観光客にとっては、大切な情報だし、よく目にとまると思うので、パッと見たときに看板が壊れていたり、古くなり見えなくなっていたりすると、村自体は素晴らしいものであったとしても、第一印象が悪くなり、村自体の素晴らしさを完全に発揮できないと思います。なので、標高の看板のような古くなったものを取り替えたり、ワインのPRの看板を作ったりするのいいと思います。	宮坂議員
9	大工	ミヤザカ 優希 宮坂 優希	道路と街灯について	私は、登下校通学路を歩いていると、歩道がせまく走行している車との距離が近い上に、歩道が破損しているため、夜や夕方に歩くと暗く、見づらいため、街灯がないと危ないので、傷んだ道を直して街灯を増やしてほしいです。	芳澤議員

議長 3年1組 小川 円佳
3年2組 松本 海斗